



ほけんだより

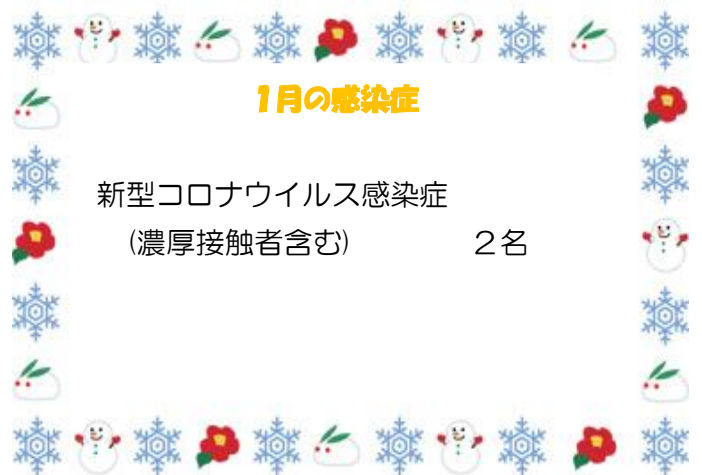
令和4年2月1日発行
両国なかよし・保育園
看護師

寒さが厳しくなってきました。低温・低湿度の冬は、かぜ・ウイルスが大好きな季節です。かぜを寄せ付けない丈夫な体作りを行い、寒い冬を元気に乗り切りましょう。



2月の保健行事
2月1日の保健行事

3日(木) 内科健診
(3~5歳児)



1月の感染症

新型コロナウイルス感染症
(濃厚接触者含む) 2名

子どもに多い皮膚トラブル

子どもの肌はとてもデリケートです。特に汗をかきやすい時期は様々なトラブルが起こりやすいです。皮膚のトラブルを悪化させないためにも、毎日のケアを大切に行って行きましょう。



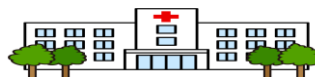
オムツかぶれ

オムツかぶれの第一の予防は、おしりを清潔に保つことです。かぶれがみられたら、できれば交換のたびに、患部をぬるま湯で洗い、よく水分をふきとってからオムツをつけましょう。洗わずに、乾いた布でこするのは禁物です。



カンジタ感染症

赤いブツブツや、皮がむけたような湿疹ができます。オムツかぶれと間違いやすいのですが、カンジタによるものは、オムツのあたらない、股の奥まで炎症が起こります。オムツかぶれの薬ではよくなりません。症状が改善されない時は、皮膚科を受診しましょう。



とびひ

とびひは、虫刺され、汗も、湿疹などに化膿菌がついて起こる病気です。掻きこわした時に出る汁が、皮膚の他の場所に付着すると同じような傷が次から次へと出来て広がります。感染力が強いため、小さな傷を見過ごさないようにしましょう。

やけどをしたら

やけどをしてしまったら、とにかく流水で冷やすこと。その後症状によって病院でも診てもらいましょう。民間療法でよいと言われていることを、安易に試すのはやめましょう。細菌感染の原因になることがあり、症状を悪化させ、長引かせてしまいます。

爪を切って清潔に

爪が伸びていると、爪と指の間に菌が繁殖しやすくなります。また、乳幼児のやわらかい肌を傷つける危険性もありますので、爪はこまめに切るようにしましょう。ただし深爪には注意しましょう。

